



平成27年8月4日

各 位

上場会社名 不二サッシ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 土屋 英久  
 (コード番号 5940)  
 問合せ先責任者 執行役員総合企画部長 濱高 和長  
 (TEL 03-6867-0777)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

|                         | 売上高     | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|-------|-------|-----------------|------------|
|                         | 百万円     | 百万円   | 百万円   | 百万円             | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 102,000 | 2,300 | 2,000 | 1,100           | 8.70       |
| 今回修正予想(B)               | 102,000 | 2,900 | 2,600 | 1,450           | 11.49      |
| 増減額(B-A)                | 0       | 600   | 600   | 350             |            |
| 増減率(%)                  | 0.0     | 26.1  | 30.0  | 31.8            |            |
| (ご参考)前期実績<br>(平成27年3月期) | 99,020  | 3,018 | 2,643 | 1,292           | 10.24      |

#### 修正の理由

当社は、有形固定資産の減価償却方法につきましては、従来より在外連結子会社を除き、主として定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より、実態をより適切に反映する定額法に変更いたしました。

この変更は、当社及び国内連結子会社における中期経営計画を基に設備投資が本格化することを契機に、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の使用実態を検討した結果、耐用年数にわたり均等償却による費用配分を行うことが有形固定資産の使用実態をより適切に反映できるため、減価償却方法を定額法に変更することが合理的であると判断したことによるものです。

あわせて、当社及び国内連結子会社は、減価償却方法の変更の検討を契機に使用実態の検討を行った結果、当第1四半期連結会計期間より、一部の有形固定資産の耐用年数をより実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に変更しております。

このため、通期では減価償却費が当初予想より減少し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が増加するため、今回修正するものであります。なお、売上高に関しましては影響がないため修正を行っていません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上